

労働委員会事務局

第1 審査の概要

1 審査の対象

(1) 一般会計

2 実地審査場所

労働委員会事務局

3 審査の方法

知事から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、労働委員会事務局執行分を審査した。

審査に当たっては、

- (1) 決算計数は、正確であるか
- (2) 予算の執行は、適正かつ効率的になされているか
- (3) 財産の取得、管理、処分は、適正に処理されているか

などに主眼を置き、決算書等及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

第2 審査の結果

1 決算計数について

審査に付された一般会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は、誤りのないものと認められる。

2 事業執行等について

特に意見を付する事項はない。

第3 決算の概要

1 歳入歳出決算の状況

(1) 一般会計

ア 歳入

(単位：千円、%)

科目(款)	予算現額	収入済額	比較増(△)減額	収入率
使用料及手数料	2	0	△ 1	0.0
諸収入	0	8	8	-
計	2	8	6	-

歳入は、第7款使用料及手数料及び第12款諸収入の2款であり、予算現額2,000円、収入済額8,432円、比較増額6,432円である。

イ 歳 出

(単位：千円、%)

科 目 (款)	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率
産 業 労 働 費	719,000	688,476	0	30,523	95.8

歳出は、第8款産業労働費で1項2目に区分し執行しており、予算現額7億1,900万円、支出済額6億8,847万余円、不用額3,052万余円、執行率95.8%である。

主な執行内容は、

- ・労働委員会の運営に要したもの

(項) 労働委員会費 (目) 委員会費 2億3,272万余円

- ・事務局の運営に要したもの

(項) 労働委員会費 (目) 管理費 4億5,575万余円

である。